

KANAGAWA

5

May, 2022
vol. 438

一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会

<https://www.j-kana.or.jp/>
email: info@j-kana.or.jp



わがまちの美術館・博物館・郷土資料館～特集スタート



Contents

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ	01
建築探訪（スペインの記憶）	03
特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館	05
支部だより（川崎支部—支部活動・湘南三浦支部—支部活動）	07
賛助会だより	09
委員会活動報告（木造専門委員会・指導委員会/マンション等の大規模修繕業務特別委員会 「住・緑・家」運営特別委員会）	11
編集者のつぶやき（太田なわのれん）	14

瓦版は2021年12月よりWeb配信となりました。

特集 北欧の建築・都市空間から学ぶ

第2回：～建築を人間的にする～

パイミオのサナトリウム / アルヴァ・アアルト / 1933 / フィンランド
Paimio Sanatorium / Alvar Aalto / Finland

九州産業大学 建築都市工学部 教授 小泉 隆

「建築は科学ではない。その目的は物質の世界を人間の生活と調和させることである。建築を人間的にするということは、それが良い建築であることを意味し、そして単なる技術的なものより、はるかに大きな機能主義を意味する。

われわれには技術や一般衛生の面だけでなく、個人の健康上の必要に、心理的な限界、あるいはそれ以上に至るまで、詳細に入り込んで、合理的に調べるべきである。技術の機能主義は本源的な建築をもたらさない。本当の機能主義とは、主として人間という観点から機能的でなければならない」

少し長く引用したが(中略含む)、これは機能主義を基盤としたモダニズム建築が世界で隆盛の頃、1940年にアアルトが「建築を人間的にする」という論考にて記した文章である。アアルトの作風は、初期の古典主義様式から機能主義様式を経て、独自のスタイルが確立された後も発展、変化していくが、「建築を人間的にする」「物質の世界を人間の生活と調和させる」という大きな目的は、スタイルや時代を超え、アアルトが生涯追求した最も重要な事柄であった。

フィンランドの南西部の街パイミオの広大な森林の中にたつ結核療養所であるこのサナトリ

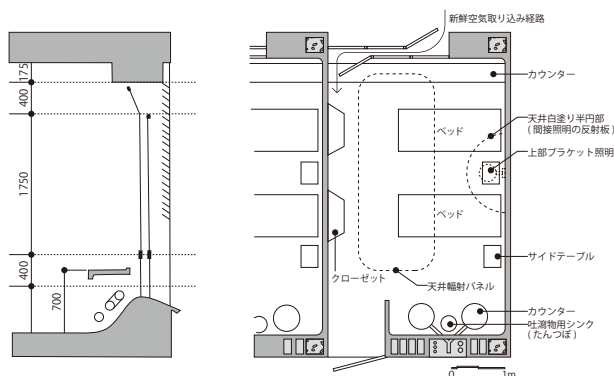
ウムは1929年、アアルトが若き30歳の時に設計競技で勝ち取り、1933年に完成、1960年代までは結核療養所として機能していたが、その後はトゥルク大学中央病院の付属施設として、肺病の他、全ての疾病の治療の場となっている。

平滑な白い壁面、箱形のヴォリューム構成、水平連続窓といった、まさにモダニズムというべき外観を持つこの作品によって、アアルトは一躍モダニズム建築の新たな旗手として世界に名を轟かせた。一方、当時のモダニズム的な外観及び建物全体の機能構成等に対して、入院病棟における病室を中心とした内部空間では、アアルトが真に大切にしたい、長期療養患者のことを第一に考えたデザインがなされている。またこの病棟の立面だけ人間的な表情をしているのも興味深い。アアルトはこの病室について、「普通の部屋は立っている人のためのものであるが、患者の部屋は横になっている人のためのものである。色彩、照明、その他は、それに従って計画する必要がある。」と語っているが、本稿ではこの病室をクローズアップしたい。

新鮮な空気と太陽光が求められる結核療養患者のための病院建築。病室に南面する窓は、より多くの光を取り込むために天井から足元ま



病院正面の外観



病室の断面図と平面図

で大きくとられ、カウンターの上板は下部からの光を遮らないように浮かせたデザインにされている。一方、ベッド頭部側の袖壁は、午後に射し込む眩しい光を遮る役割を果たす。多くの光を取り込みながらも、過度な明るさや眩しさを避ける配慮がされている。窓は二重サッシになっており、ベッド頭部側から取り込まれた外気はサッシ間で温められ、足元側から室内に送りだされ、冷たい空気を少しでも温め、さらに顔側から入らないようにしている。照明器具に目を向けると、ベッド上部のブラケットランプでは、下部にスチール製の皿を設けることで、ベッドで寝ている患者から光源が直接見えないように工夫が施され、光源を半透明の筒状のカバーで包み込むことによりまぶしさが軽減されている。また器具上部の天井を半円形に白く塗装することで光の反射率が高められており、間接照明のように柔らかい光を病室に与える照明方法がとられている。その他の天井部分は目

に優しい色使いがなされている。

さらには、頭側が熱くなり過ぎず、足部側をより温めるよう配慮して取り付けられた天井のヒーティングパネルや、水を出しても音が出ないように工夫したとされる手洗い器など、この病室は、患者が快適に過ごせることを第一義に、全ての要素がその目的に向かって機能的につくられている。まさに、経済や技術の合理性だけでなく、人間の心理や生理にまで踏みこんで機能的に作る、アアルトの言う「大きな機能主義」「人間的な機能主義」がよく現れた作品である。そして人間を中心に据えて建築を作るその思想は、北欧の建築全般に通底する重要な特質でもある。[写真・図は全て、小泉隆]

■参考文献

- ・『アルヴァ・アアルトの建築 エレメント&ディテール』小泉隆、2018年3月、学芸出版社
- ・『アルヴァ・アアルトのインテリア 建築と調和する家具・プロダクトのデザイン』小泉隆、2020年10月、同

2



病室 南・窓側を望む全景



廊下側 手洗い器



病室側の外観

スペインの記憶

サイプラス

株式会社SAIplus建築設計事務所 仙波 弦

コロナ渦にて実行が難しくなった海外への旅行。今は行く事ができないので、せめて「行った気分」に成れるよう、かなり前になりますが、スペインの建築を探訪した際のご報告を、過去の記憶をたどりながらしたいと思います。現在はかなり変わっている場所もあると思います。最近をご存じの方は、随分古いなぁと懐かしんで頂けるかもしれません。



■概要

グエル公園

設計：アントニ・ガウディ

スペインのバルセロナにある公園で、バルセロナの街を一望できます。

1984年にユネスコの世界遺産に登録され、ガウディ作品群の中の一つです。

生き物のような「うねり」のある曲線が非常に印象的でした。

トカゲの噴水や回廊など見所もたくさんあります。

3

■概要

サグラダ・ファミリア

設計：アントニ・ガウディ

スペインといえばこの建物でしょう。1,880年代に着工し、完成までに300年かかるとか永遠に完成しない等いろいろ言われていましたが、スペインの経済成長や急速な技術の進歩もあり、2026年での完成が見えてきたという事です。改めて時代の進歩に驚かされます。写真は2010年時点での状況です。現在は完成も近くなって、全く違うのでしょうかね。



建物を見る前、建物は重厚で明かりの少ない静かなイメージを勝手にもっていましたが、実際に訪れてみると全く印象が違い、軽くてのびやかであり、明るくて生命感あふれる建物だと感じました。





■概要

バルセロナ現代美術館
設計：リチャード・マイヤー

1995年に開館した美術館ですが、20年近く経っていた当時でも綺麗で古さを全く感じさせない、白が生える建物です。



■概要

バルセロナ・パビリオン
ミース・ファン・デル・ローエ



1929年に万博で建設されたドイツ館です。鉄・ガラス・石・水面の構成、シンプルで美しい建物です。「Less is more」や「God is in the detail」などが有名です。

■概要

トーレ・アグバール
設計：ジャン・ヌーベル



2005年に完成した超高層複合事務所ビルです。RC造という事に驚き、ダブルスキンの外装ディテールが機能的で省エネかつ、意匠性も備えています。夜はLEDの照明が綺麗です。

〈振り返って外国の建物を眺めてみたことで、あらためて現地の建物と自国の建物のそれぞれの良さ、違い・共通点など再度認識すると共に、現代の中で新たに感じる事が出来る事もあり、今後の業務に活かして行ければ、と感じるところです〉

■概要

モンジュイック・タワー
設計：サンティアゴ・カラトラバ



1992年に竣工し、バルセロナオリンピックに合わせて建てられた通信塔です。タワーの傾斜は夏至の太陽角度に合わせた日時計として機能しているそうです。美しいデザインは構造計算を駆使し、青空に生える緊張感のある姿が圧巻です。



特集 わがまちの美術館・博物館・郷土資料館

女子美アートミュージアム

相模原支部

スタジオアートクリエイト一級建築士事務所

杉本 勝郎



5



県立相模原公園に隣接する形で、女子美術大学相模原キャンパスがあります。1989年に東京都杉並区の本部から一部の学部が移設されましたが、その中に「女子美アートミュージアム」があります。敷地内には13号館まであり、その10号館の一部に設置されています。大学建物は日建設計によるもので、打ち放し仕上げのダイナミックなデザインです。

「女子美アートミュージアム」は、女性作家の作品発表に重点を置かれた展示が多く、収蔵品にもその傾向が顕著であり同大出身の作家や教員、ゆかりの深いアーティストの作品を中心に収集されています。2009年に旧カネボウコレクションの一部が加わり、約15,000点の作品を所蔵しています。

展示スペースは、開放的な空間で絵画や彫塑に留まらず、様々なアートシーンに対応できるような設えとなっています。

入場料も基本無料ですが、企画展や内容によって有料の場合もあります。かなりお安くなっています。

・住所：神奈川県相模原市南区麻溝台1900

・電話：042-778-6801

・最寄り駅：下溝駅[出口]から徒歩約23分

・営業時間：通年 10:00～17:00

・定休日：日曜日・祝日・展示替期間

(ただし展覧会に応じて特別開館あり)

・HP：<http://www.joshibi.net/museum/jam/index.html>

川崎浮世絵ギャラリー

川崎支部 株式会社創信建築事務所 森本 和樹



今回の寄稿テーマは、わがまちの美術館等の紹介ですが、わがまち川崎は、「岡本太郎美術館」や「藤子・F・不二雄ミュージアム」が頭に浮かびましたが、どちらもよくご存知の方も多いと思い、今回は1人で気楽に楽しめる美術館を紹介したいと思います。それはJR川崎駅直結「川崎浮世絵ギャラリー」です。

会社帰り気軽に立ち寄り、芸術に触れることが出来る穴場スポットです。川崎市在住の世界的浮世絵コレクター、齋藤文夫氏から提供された作品を展示しています。

取材当時(3月19日～4月24日)は、「今に見る江戸美人 国貞・英山・英泉」が開催されていました。

浮世絵の浮世は「当世」「現代風」という意味です。江戸時代の風俗、風景、伝統芸能が描かれています。1806年人気絶頂のさなかに喜多川歌麿が急死し、人々は歌麿の美人画を求めていました。1807年新進の菊川英山が現れ、歌麿風美人画を売り出しました。菊川英山はどこか儂く弱い女性の美しさが漂う画風を確立し、歌

川国貞は粹に、溪斎英泉はあだっぼく描いているのが特徴です。今回の展覧会では英山、国貞、英泉の美人画約70点を展示されており、一つ一つの作品に詳しい説明がされています。また、照明設定に工夫されており、江戸美人の着物の繊細な柄や、鮮やかで美しい色彩を、存分に楽しむことができます。

次の開催展覧会は4月29日～6月5日「歌川国芳 木曾街道六十九次」です。

・アクセス

JR川崎駅北口改札より徒歩2分、京急川崎駅より徒歩2分

川崎駅前タワー・リパーク 3階

・開館時間

11:00～18:30(入館18:15迄)

・休館日

月曜日(休日の場合翌平日)

・入館料

一般500円 高校生以下無料
年間パスポート3000円

・ホームページ

<https://ukiyo-e.gallery/>

新年度を迎えるにあたり

～川崎支部 ネクスト ジェネレーション～

川崎支部長 (株)多摩設計 岩田 崇

令和4年スタート早々に発せられた蔓延防止等重点措置により、川崎支部での活動も再び制限がかけられ、対面で行っていた支部の役員会も2月からは再びZOOM形式となりました。

オンラインによる会議は合理的であると言う意見もありますが、私自身はモニター越しに映る相手の様相が捉えきれず、発言者の「熱量」までは相手に届かない、そんな気がしておりました。

そうしたもどかしさを感じているうちに、新体制スタートから早10カ月が経ち、前回の支部だよりでお伝えした一定の「手応え」を加速させるには至っておりません。

年明けから年度末は官庁仕事メインの私にとって毎年時間に余裕がないのも原因ではあります。私に限らず支部活動と本業の両立も今後の課題と言えるでしょう。



2021年末の忘年会



2021年11月 寺田倉庫WHAT MUSEUM見学会

今後の活動の方向性はまず会員拡大の継続。本会と連携して行った新規開設者講習会参加者に引き続き声掛けを行う予定です。具体策としてはとにかく対面による交流が出来る場を設けます。

その一つが支部の会員が集まる場である5月末の総会とその後の懇親会です。役員全員で手分けをして、日頃顔を見ない会員やここ最近入会した新会員も含めて参加者を募る考えです。

二つ目として昨年11月末に、新企画部立案によ

り行われた建築・展覧会等の見学会続編の実行。こうした場を提供し、若い世代をターゲットに参加者の幅を広げて行きたいと考えております。

そして本来であれば、まだ入会されていない事務所で可能性のありそうな方の訪問も実行して行きたいところです。役所ですれ違ったときに声を掛ける等々、まだまだやれることは有るはず。役員的大幅な世代交代からもうじき1年。全てはそう簡単には行かないとは思いますが、地道な活動を積み重ねて行きたいと思います。



支部だより

湘南三浦支部

湘南三浦支部だより

湘南三浦支部長

ARCHITO 一級建築士事務所 歩く人 相馬 立夫

湘南三浦支部は、逗子市葉山町三浦市の2市1町に所在する事務所で構成され、現在支部会員17名と小規模な支部です。

湘南三浦支部では、毎年数回の例会を開催しています。

7月に夏期研修会と題し、2部制の会を持ちます。前半は支部会員と行政に限定し、県土木事務所、市町村の建築関連の方をお招きしての法改正等の勉強会。後半にはひろく一般の方にも広報公開して毎年テーマを設定したワークショップや支部で企画したコンペの発表などを催しています。

9月には浦賀のマリーナでバーベキューと釣りを楽しんで親睦を深め11月には支部会員向けの耐震診断・補強の実践的な講習会を企画、その他季節の良い時期には建築の見学やまちあるきなどの見学例会も催してきました。



浦賀マリーナでのBBQ



ドラゴン級の太刀魚



家族でボート釣り

しかしこの2年ほどはコロナの影響で活動らしい活動ができない状態が続いていました。

また、2020年2月には仕事展を企画。

「地球温暖化を食い止めるために、低炭素なス

ローライフを楽しもう。海、山、川のある暮らし」と題して、逗子・三浦・葉山の環境と共生するライフスタイルの提案を行うとともに、「バックミンスター・フラーのテンセグリティの原理を体験しよう！」というサブテーマで約2mの紙管パイプを6本とテンションロープを使ったオブジェを作成。来場してくれた子供さんへのお土産用にガラスストローとカラー輪ゴムを使ったテンセグリティ体験キットを配るなどして好評を博しました。

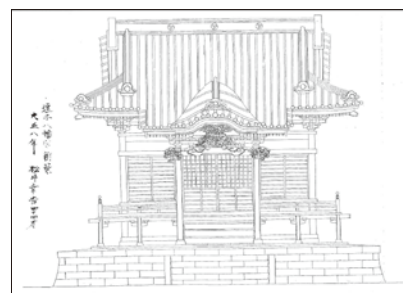


配布用テンセグリティキット 2m紙管のテンセグリティオブジェ

2022年3月にも建築展を企画していましたがオミクロン株の急激な蔓延、緊急事態宣言の影響で6月に延期、仕切り直しとなりました。

今回のテーマは、建築展の会場である逗子文化プラザにも近い逗子亀岡八幡宮が2019年で社殿建立100周年迎えたことも有り、「建築の100年を考える」です。

目的は亀岡八幡宮の現在の状況を広く一般の市民の方々に知っていただくこと。そして、神社建築を始めとする、世界遺産にも登録された日本古来の建築のあり方を知って頂ければと考えています。今回の展示の目玉は、貫・楔構造の2メートル角の立体を展示します。亀岡100周年を期に、建築の100年を考えるコーナーもあります。逗子・三浦・葉山には、築100年を迎える民家も



亀岡八幡宮

まだ沢山残っています。これらを積極的に活用し、湘南の風土風景を守って行けるきっかけになったらと考えています。

賛助会だより

賛助会員紹介

神事協・神奈川賛助会 理事 横浜菱住株式会社 下村 康祠

平素は賛助会活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

早いもので、2011年7月に入会して間もなく10年を迎えます。その間多くの設計事務所の先生方にご厚情を賜り、改めて感謝申し上げます。

まずは自己紹介ということで、昨年2月に定年を迎え現在61歳となりました。家族は妻・長男・長女の4人家族です。長男は3月に大学を卒業しこの春から新社会人としてスタート、長女は成人式を迎え4月から大学2年生です。妻とは結婚して25年になりますが、夫婦円満楽しく過ごしております。

私の趣味は、ゴルフ、スキー、サッカー観戦などです。ゴルフはやればやるほど下手になっている状態でどうにか這い上がれないかと仕事以上に一生懸命やっております。(笑)

スキーは前職がスキーマーカーにいましたのでそれなりには滑れます。ここしばらく子供達の受験などがありましたので滑ることは控えておりましたが、昨年末7シーズンぶりにスキーを楽しみました。

定年を迎え事務所協会の仕事も引き時かと考えておりましたが、この2年間はコロナの影響で満足な活動もできませんでしたので、もう少しお手伝いさせて頂く所存でございますので引き続きよろしくお願いいたします。

続きまして弊社のご紹介をさせていただきます。

弊社は、1978年8月に厚木基地周辺の住宅防音工事における三菱電機株式会社の取扱店として神奈川県大和市に創業いたしました。防音工事におきましては、ルームエアコン、ロスナイ換気扇、レンジフードの施工を行っておりエアコン、換気扇は年間3500台ほどの施工実績がございます。

また、防音事業とは別に一般工事の事業を約10年前から本格的に始めまして、そこから神事協の皆様とお付き合いが始まりました。一般工事はルームエアコン、業務用エアコン、換気扇等の空調工事からエコキュートなどのオール電化工事など三菱電機の製品をメインに扱っております。昨今はコロナ渦にあり、新しい生活様式として快適と換気の両立ということで、エアコンとロスナイ換気扇のセット提案をさせて頂くことが増えております。ロスナイ換気扇は、換気時の室温変化を抑える熱交換機能がございますので大変好評です。

まだまだ終息が見えないコロナの状況ですが、変化に合わせたご提案をさせていただきますので今後とも宜しくお願い致します。



横浜菱住株式会社

〒242-0029大和市上草柳6-16-3

TEL.046-263-6345



賛助会だより

未来を築くには まず足元から

神事協・神奈川賛助会 理事

株式会社 トーテック 東京営業所 瀬戸 秀吉

10年程前に、前職で福岡から関東へ出て来た時に神事協様へ入会させて頂く事が出来ました。前職でお世話になっていた関係でトーテックでも2019年から入会をする事が出来ました。

2021年より神事協の賛助会理事を務める事となりました。

安藤会長、先輩理事の皆様と神事協・賛助会を盛り立てていければと思っています。

<会社紹介>

弊社は、新潟県に本社が有り東京、北海道に営業所が御座います。

関東営業所の事業内容としましては、各種杭工事、鋼管杭 EAZET工法
ATTコラム工法（旭化成建材）
既製杭（コンクリートパイル）、柱状改良
ファインパイルCiv工法、中層混合処理WILL工法、環境パイル工法（兼松サステック）

地盤改良（エルフ）を主に取り扱いをしております。

会員の皆様方で杭工事の選定でお困りの方が御座いましたら弊社瀬戸迄お声かけを頂けたら即、対応をさせていただきます。

建物・地盤にあった杭を選定し検討、見積りをさせていただきます。

幾つかの杭を提案し会員様のご希望に沿う検討を心掛けています。

沢山の先生方と一緒に仕事をしたいと思っています。

これからもご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。



株式会社 トーテック 東京営業所

〒116-0013東京都荒川区西日暮里5-23-8

KSビル3F

TEL.03-5604-5806



環境パイル工法



E A Z E T 工 法



文化財建造物保存修理工事（本禅寺本堂）見学会

木造専門委員会 ARCHITO 一級建築士事務所 歩く人 相馬 立夫

令和3年11月11日、神事協木造専門委員会は文化財建造物保存修理工事（本禅寺本堂）見学会を催しました。

本禅寺は、厚木市の西北を流れる恩曾川左岸の大地上に位置する日蓮宗寺院です。

現在の本堂は、元和8年(1622年)建立、寛永18年(1641年)落慶とされ、2022年現在から数えると約380年を経ています。その後享保年間(1716-1735)の須弥壇廻りの改装、万延元年(1860年)天井絵の完成、大正3年(1914年)茅葺きから大波鉄板屋根への葺き替え、昭和35年(1960年)本堂側柱取り替えなどの大改築、その他の整備を経て、平成7年本堂及び棟札が神奈川県重要文化財に指定されています。

当日は、木造専門委員長の山中信悟氏の挨拶とガイダンスに続いて、設計者の(株)文化財保存計画協会研究員 益田里佳氏、施工者の(有)内田工務店 宮大工棟梁 内田幸夫氏が詳しい説明をしてくださいました。設計施工に関しては、文化財であるため慎重に調査し、詳細綿密な記録を残し、補修の際にも極力元の部材を残したそうです。今回は柱の不陸、傾斜が顕著だったため軸組を露出、一部解体する半解体修理を行っていました。解体され、改修中の軸組・小屋組を間近で観察でき、各部について設計者施工者に直接質問して答えてもらうことができる大変貴重な機会でした。

今回の改修工事の内容は、木部破損修理（軒廻り、小屋組の破損修理・不陸修正・柱傾斜修正等）・屋根葺き替え（茅葺型銅板葺）・耐震改修の4点でした。大きく変えた点は大正3年に茅葺きから大波天板葺きに変更されていたのを、元の茅葺きの形状に変更（ただし銅板葺き）、化粧隅木の成が小さいことが原因で折損をしていたため、成を3割程大きくして交換（オリジナル部材は保存）したとのこと、また、向拝は建立時にはなく、後付けだが、今回はそのまま残す意匠としたとのことでした。欄間から外して保管してあ

る天女・迦陵頻伽図も陳列して柱の不陸の改修、傾斜の補正の様子も見ることができました。改修工事は本年7月頃竣工予定。

木造委員会では完成間際の姿が見られる見学会を6月24日金曜日に企画しています。

今回は工事完了間際での見学となり、茅葺型銅板葺の見学は足場を外す前の今回が最後の機会となります。前回見逃した方も、工事の経過がよくわかる内容の見学会となる予定です。皆様のご参加をお待ちしています。



改修前外観



天女・迦陵頻伽図



軸組小屋組を間近で観察できた

委員会活動

指導委員会/マンション等の大規模修繕業務特別委員会

「事例に学ぶ漏水事故調査の方法」～RC造編～講習会

マンション等の大規模修繕業務特別委員会副委員長
(株)マツイアーキテクトコンサルタント 松井 正

令和4年2月10日(木)にweb配信(『zoom』ウェビナー使用)にて、「事例に学ぶ漏水事故調査の方法」～RC造編～講習会が開催されました。

この講習会は「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」及び「マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所」の必修研修で、指導委員会とマンション等の大規模修繕業務特別委員会との初のコラボレーション指定講習会でした。他にも同一の内容で2月22日(火)の午前と午後2回に渡り録画配信されました。

昨年の7月に指導委員会主催の「建築物等調査・鑑定業務登録事務所」の研修会であった『雨漏りの調査方法・調査報告書の書き方』講習会では、題目の通り雨漏りをテーマにした木造編の講習会が開催されましたが、本講習会はその続編ともいえる非木造構造編の講習会であり、メイン講座の「漏水事故調査の実例紹介 分譲マンション事例」を永島副会長が講師をつとめられました。

永島副会長の豊富な知識と実績に裏打ちされた講習会は、図面、写真、報告書の記載等の実例を基にした大変有益な内容であり、仮に講座を受講せず講習者に配布された資料だけでも読む価値が十分な資料になっておりました。また他の講座の江田特殊防水工業(株)による「漏水調査について(エダ式ガス検知検査)」、(株)保険ステーションによる「マンション保険について」の講座も知識をより増幅させる内容でした。

私自身も上記の木造編とRC造編の2つの講習会を連続して聴講した事で内容をより深く把握し整理する事ができた事からも、二つの委員会のコラボレーションは成功だったのではないかと思います。

マンション等の大規模修繕業務特別委員会では、7月に必修研修会、9月頃には定期的に実施している見学会も予定しておりますので、多くの会員の方々にご参加いただければ幸いです。



令和3年度 第2回
建築物等調査・鑑定業務登録事務所研修会
マンション等の大規模修繕業務対応登録事務所必須研修会

**「事例に学ぶ漏水事故調査の方法」講習会
～非木造構造編～**

日時：令和4年2月10日(木) 13:30～15:40
会場：Zoomウェビナー オンライン講習会
共催：(一社)神奈川県建築士事務所協会 指導委員会
マンション等の大規模修繕業務特別委員会
講師：(有)ノマド 永島優子(川崎支部)

横浜市北八朔自治会館 竣工見学会 実施報告

「住・緑・家」運営特別委員会 委員長 渡邊 靖

はじめに

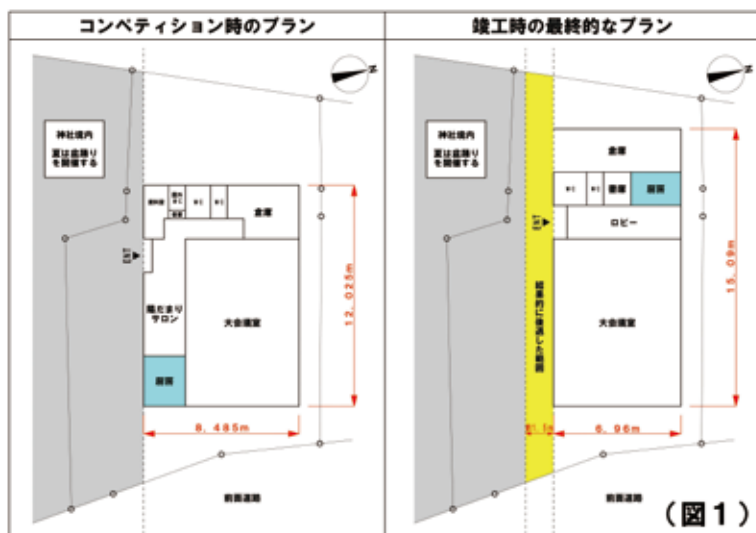
昨年10月に開催した構造見学会に引き続き、2022年2月27日（日）、横浜市北八朔自治会館の竣工見学会を開催した。当日は幸いにも快晴で、また18名もの会員が参加して頂き、設計者の伊藤 寛アトリエ、伊藤様に対して様々な質問が投げ掛けられるなど非常に盛況であった。今回寄稿する実施報告では、伊藤様から説明のあった、コンペティションから竣工に至る様々な経緯の内、いかにも自治会館ならではのエピソード2点をピックアップし、考察を加えてみたいと思う。



当日の様子

【その1】神社境内の広さを最優先した計画

北八朔自治会館は、元々神社の境内に建っており、その関係で夏に境内で行われる盆踊りを長年、企画・運営している。このことはコンペティション時の募集要項、『3. 既存施設の利用状況』に明記しており、設計者の伊藤様も、コンペ時点では神社境内と本会議室を繋ぐ緩衝空間として、『陽だまりサロン』を、また盆踊り等イベント時の利便性を考慮し、陽だまりサロンの並びに厨房を設ける提案を行った。その後の実施設計時においては、『と



(図1)

にかく盆踊り時の、庭のスペースを確保したい。』というご要望が自治会員様から出て、陽だまりサロンは中止、厨房も北西側へ移動し、短手方向の建物寸法が約1.5m縮んだ。(図1) 自治会館の内部だけで完結する様な、単体のプランニングではなく、盆踊りで大人数が集まる時の様な、神社境内と施設が一体となった使われ方が求められたのである。

【その2】大会議室用の広い空間をどういった架構で出現させるか

横架材
構造用合板

北八朔自治会館は、大会議室の最大収容規模が、椅子のみ90席、テーブル利用50席程度という要望があったが、これは年2回行われる総会と班長引継会で60～80名を動員するという、一時的な用途が基になっている。北八朔自治会館の大会議室は、6.96mもの長大なスパンを切妻表わしの勾配屋根で納めるため、スパンの中央部で登り梁を横架材で水平に繋ぎ、さらに水平部へ構造用合板を貼り、面剛性を高めている。天然乾燥させて製材した木材を使って、最大限広い空間を出現させるためにどのよう

な架構を組むかという、建築を創る時の重要なテーマが自治会館の設計にはあるのだ。

新入会員のご紹介

横浜支部

レイズネクト株式会社一級建築士事務所 辻村 英雄
〒231-0062横浜市中区桜木町1-18日石横浜ビル
TEL.045-415-1136 FAX.045-415-1143

くらしの相談室 一級建築士事務所 安富 大樹
〒231-0003横浜市中区北仲通3-33関内フューチャーセンター#136
TEL.080-3546-3148

藤沢支部

湘南乃工務店一級建築士事務所 小村 輝夫
〒251-0052藤沢市藤沢1051-5-4F・TAIKI3BLDG.
TEL.0466-50-7000 FAX.0466-50-1005

鎌倉支部

株式会社柏木美術建物研究所一級建築士事務所 柏木 一伸
〒248-0005鎌倉市雪ノ下4-13-13
TEL.0467-73-8054 FAX.0467-73-8054

大和綾瀬支部

綾瀬二級建築士事務所 白崎 善久
〒252-1114綾瀬市上土棚南3-4-5 5503
TEL.070-5580-4916 FAX.046-773-9445

退会者

横浜支部

シバタホームサービス 柴田 香代子
有限会社川俣工務店一級建築士事務所 川俣 有希子
末木建築設計事務所 末木 和彦

川崎支部

有限会社広瀬一級建築士事務所 廣瀬 順二

横須賀支部

株式会社新郷一級建築士事務所 新郷 誠

茅ヶ崎寒川支部

株式会社山上建設二級建築士事務所 山上 真人

秦野支部

アトリエ麓 田代 茂夫

変更

横浜支部

鹿島建設株式会社横浜支店一級建築士事務所
(指定代表者変更)
住吉 剛彰

川崎支部

露木建設株式会社 一級建築士事務所
(事務所所在地変更)
〒216-0043川崎市宮前区野川台1-22-3

厚木支部

株式会社創和加藤設計
(指定代表者変更)
齋藤 真純

賛助会新入会員

江田特殊防水工業株式会社

賛助会退会者

株式会社 日東製陶所
岩谷産業 株式会社
フジタ道路 株式会社 首都圏支店
ジャパン建材 株式会社 木構造建築課

会報KANAGAWAでは会員の方より、趣味、旅行、歴史、作品紹介等 様々な情報を募集しています。

会 勢

支部名	令和4年4月1日	現在	入会者	退会者	増減
横 浜	245	245	0	0	0
川 崎	103	103	0	0	0
横 須 賀	50	50	0	0	0
湘 南 三 浦	17	17	0	0	0
藤 沢	35	35	0	0	0
鎌 倉	38	38	0	0	0
茅ヶ崎寒川	14	14	0	0	0
平 塚	22	22	0	0	0
秦 野	13	13	0	0	0
伊 勢 原	5	5	0	0	0
大和綾瀬	19	19	0	0	0
厚 木	31	31	0	0	0
座 間	12	12	0	0	0
海 老 名	16	16	0	0	0
愛 川	6	6	0	0	0
相 模 原	63	63	0	0	0
県 西	39	39	0	0	0
合 計	728	728	0	0	0
賛助会員	99	99	0	0	0

※退会報告等の状況により会員数は常に変動しております。
※入会者、退会者には支部間の異動も含まれます。

編集者のつぶやき

まだ寒さが厳しかった2月下旬に、「太田なわのれん」に行く機会があった。横浜にいくつかある牛鍋店の元祖の一つで、創業が1868年(明治元年)という150年余りの歴史がある。所在の中区末吉町は日ノ出町駅近くの大岡川沿い、現在は歓楽街からやや外れた場所であるが、何故ここに?という思いを巡らせると、横浜の歴史で移転を繰り返して今の場所にということらしい。現在のお店は周囲に馴染んだ和洋風の外観で、中は和室を中心にお店の歴史を伺うことができる。濃い味噌の味付けは卵に絡めるすき焼き風で、味噌が意外にあっさり寒さ厳しい時期にはさらに染み入る味である。横浜には田中家など明治前後からの歴史を積み重ねた名店がまだいくつか残っているので、横浜遺産として受け継がれてほしいと思う次第である。



(横浜支部 アメジスト建築設計 一級建築士事務所 小河 泰隆)

KANAGAWA 令和4年5月号(通号438号)

発行 令和4年5月1日(奇数月1日発行)
発行人 白井 勇
発行所 一般社団法人 神奈川県建築士事務所協会
〒231-0032 横浜市中区不老町3-12 加瀬ビル201 2F
TEL. 045-228-0755/FAX. 045-212-3807
印刷所 株式会社 柏苑社

担 当 副 会 長 杉本 勝郎 小松 正道
会報誌編集特別委員長 小泉 厚
会報誌編集特別副委員長 加藤 一郎
会報誌編集特別委員 雨森 隆子 小河 泰隆
森本 和樹 戸井田 顕
中原 尚代 仙波 弦
事務局 久保田 千尋



今月の表紙

小田原市いこいの森

ご存知でしたか？ 県内でも西の外れ、森林資源豊かな小田原の森にはJR小田原駅から15分でアクセスできます。

そこでは季節ごとに様々な体験イベントが開催されています。

SDGsとか脱炭素なんて言われるずっと前からコツコツ育ててくれていましたから。設計に携わるならこの豊かな恵みを使わない手はありませんよ！

そして良いアイデアは都市のオフィスの中からは生まれないと思います、この気持ちのいい森をもっと近くに感じてみませんか。

(表紙写真・文／加藤 一郎)



一般
社団法人

神奈川県建築士事務所協会

Kanagawa Architect Office Association